



# 謹賀新年

文化庁 芸術家派遣事業 「むすめかぶき体験教室」  
 ようこそ！むすめかぶき・鮭川歌舞伎の皆様  
日程：令和3年11月17日（水） 会場：尾花沢市立玉野小学校



12月定例会	
特集議会だよりアンケート	2
12月定例会	6
11月臨時会・請願	8
広域事務組合議会	10
行政調査レポート	11
大好き尾花沢・政務活動費	12
一般質問	13
私のひとこと	24

## 私のひとこと トザイトーザイ！ 歌舞伎を学ぶ 玉野小学校児童



玉野小学校校長  
 あじき しゅういち  
 インタビュー 安食 秀一 さん

①歌舞伎体験教室を行うきっかけは何ですか。  
 文化庁の「文化芸術による子ども育成総合事業」に応募し、当選したのが始まりです。  
 ところが、コロナ禍でNPO法人むすめかぶき（名古屋市）が来れないためにリモートでの指導。授業はNPOに所属する庄内町地域おこし協力隊の飯田陽子さんと鮭川歌舞伎保存会（佐藤成一会長）の協力を得て、11月17日に開催しました。

## 演目 白波五人男「知らざ言ってきかせやしよう」

②校長先生の思いは。  
 私がかねてから、日本の文化を知ることが国際化の第一歩だと思っています。歌舞伎のような日本の伝統文化を体験するのは大変貴重で、子ども達の表現力を伸ばしてあげたい。色々な経験から、チャレンジ精神の芽ばえを期待しています。

③授業の様子と子ども達の感想はどうですか。  
 演目はDVDで鑑賞し、浴衣姿で、すり足、着座の仕方などを指導。子ども達（6年生）の感想は以下です。  
 ●男がやるものと思っていたら女の人がやるのを知ってびっくり！  
 （菅野蓮月）  
 ●同じ着物を着ていても芸の種類や演目によって歩き方・すわる立つなど基本の動きが変わるのが不思議だ！  
 （元木初冠）  
 ●今回の教室は私の一生の思い出です。（尾崎璃子）



あ～楽しかった

●鮭川歌舞伎のお兄さんたちかとてもかっこよかったです。  
 （東海林悠大）  
 ●ぼくは人生初の歌舞伎メイクを経験しました。  
 （山科星輝）  
 ●メイクをしているうちに役者になった気分になりました。  
 （折原謙心）  
 ●私は卒業だけど、これからも続けてほしいです。  
 （木戸奏子）

発行／山形県尾花沢市議会 編集／市議会だより編集委員会

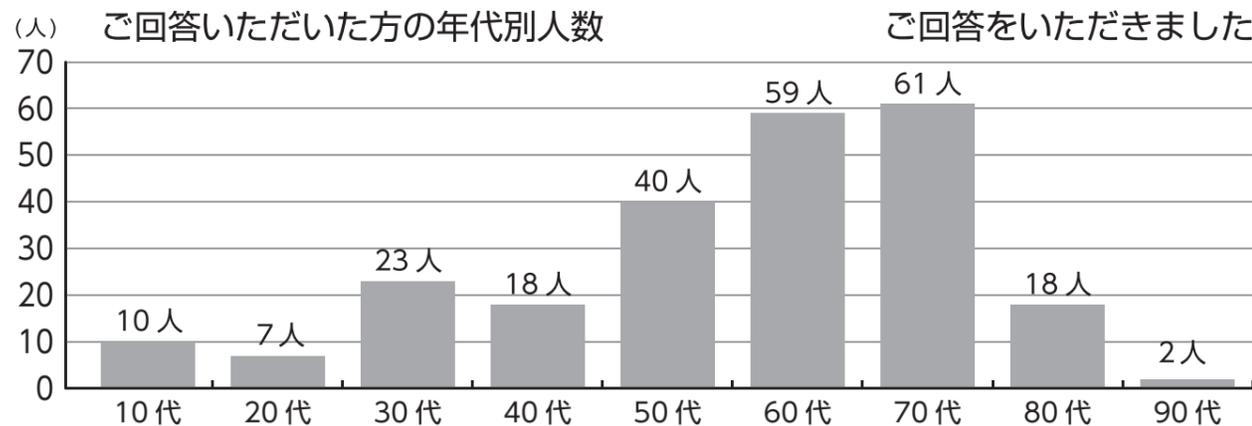
- 発行責任者 議長 青野 隆一  
 市議会だより編集委員  
 委員長 鈴木 清  
 副委員長 和田 哲  
 委員 塩原未知子  
 委員 星川 薫  
 委員 菅野 喜昭  
 委員 安井 一義  
 委員 鈴木由美子

あとかぎ  
 新年あけましておめでとうございます。  
 今回は、市民の皆様からお寄せいただいたアンケート結果を掲載いたしました。  
 これからも「広報・広聴」の場づくりを多く設けられるよう、一丸となった取り組みに努めてまいります。  
 （和田 哲）

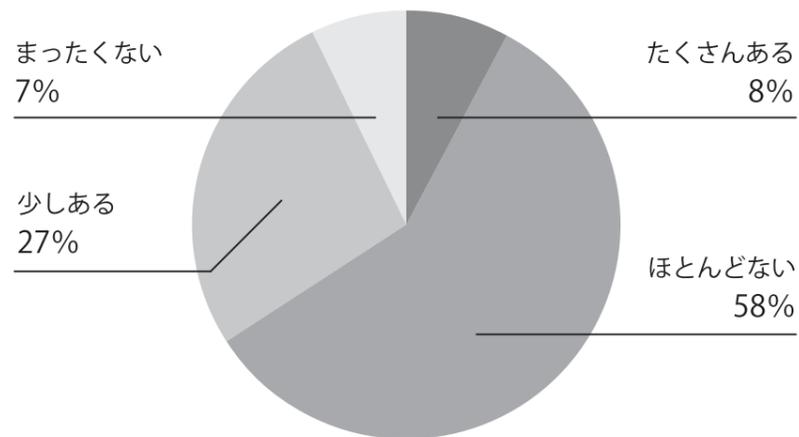


# 多くの皆様からのご回答 ありがとうございます!!

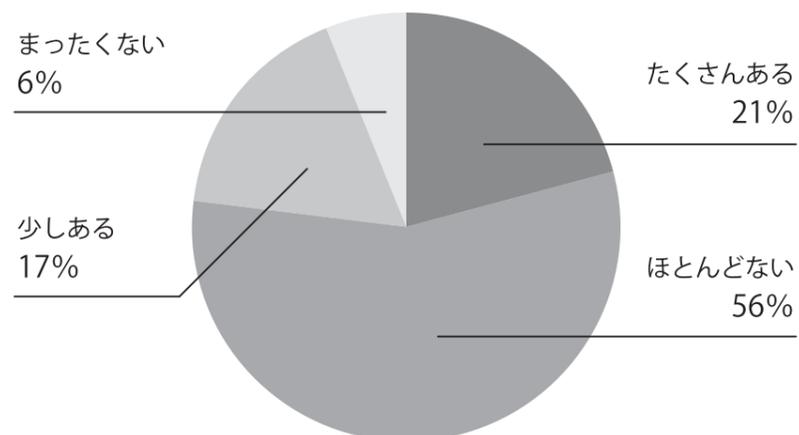
238名の方々から  
ご回答をいただきました。



## Q3 「わかりづらい・見づらい・つまらない」などと思うところがありますか？



## Q4 「わかりやすい・見やすい・おもしろい」などと思うところがありますか？



実施期間 令和3年 8/1~9/30

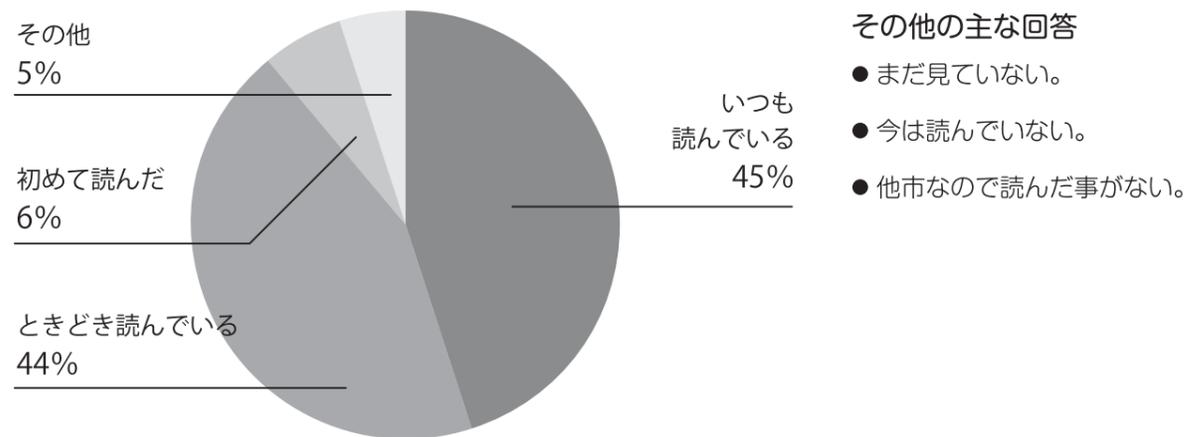
このたび  
実施いたしました  
アンケートの結果を  
公開いたします。

# おばなざわ 特集 市議会だより アンケート

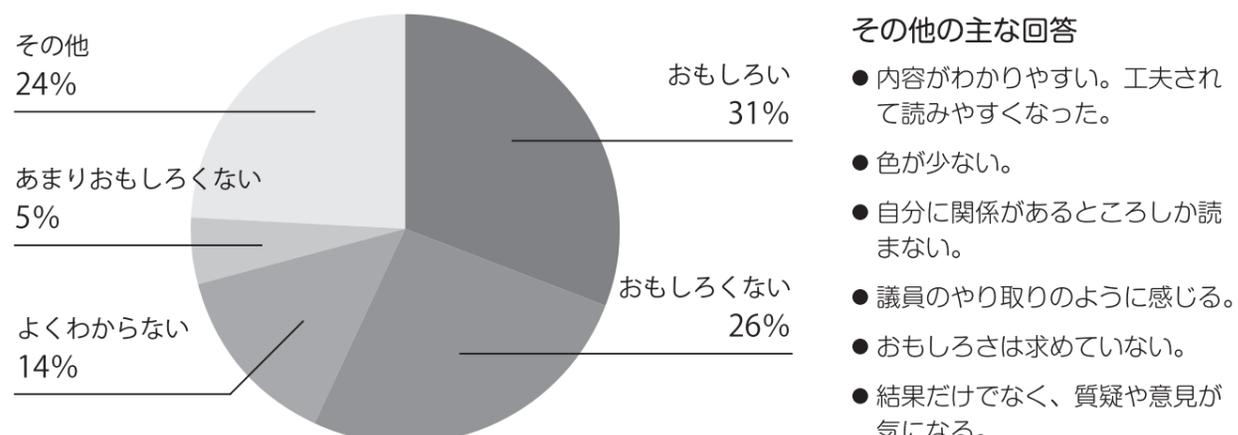
アンケートボックス設置場所  
公共施設 12ヶ所 民間施設 5ヶ所



## Q1 『おばなざわ市議会だより』は、どの程度読んでいますか？



## Q2 読んでみての感想はどうですか？



# 議会だよりは、市民と

たくさんのご意見をいただきましたので、一部のみを

**Q6** その他「ご意見・アイデア・改善点」などありましたら、ご自由にお書きください。

議員PRより  
取り組みなどの  
記事が必要

議会と市民が  
話し合う場を!!

学校や子ども  
たちのことを  
もっと知りたい

インターネット  
中継が楽しみ



主な声

中身をもっと  
つたえてほしい

- 読みたたくさせるための遊びゴコロも必要 (30代)
- 市内学校のことを教えてほしい (30代)
- 質問した後どう変わったかが分かると思える (20代)
- 議会全体を中継するなどひと工夫ほしい (70代)
- 議会が決まった結果だけでなく、過程の意見を知りたい (70代)
- 議員活動PRにならないように (40代)
- 地域の課題に対する質疑が浅いと感じる (60代)
- 難しい専門用語は解説がほしい (50代)
- 18才くらいのこれからの若者の意見を求めたい (60代)
- 夜の議会をしてほしい (60代)
- 議員の人柄ももっと出ると良い。議員と市民の話し合いがあればいい
- 小中高校生にもわかりやすい内容に (50代)
- 選挙の時だけでなく市民の声を聞く機会をつくってほしい (50代)
- 年に1回でも議員と市民が話し合う場がほしい。特に若い人 (60代)

# 議会をつなぐラブレター

掲載しております。ご了承をお願いします。

**Q5** これまでお答えいただいたQ1~Q4について、具体的な理由などを教えてください。

難しくて  
読もうと  
思わない

市報との違いが  
わからない

一般質問の  
重複が多い

発行目的が  
伝わらない



主な声

工夫されていて  
わかりやすい

- 報告だけで、何が課題なのかわからない (60代)
- 興味ある事以外は難しい (30代) (40代)
- 問と答えがマッチしていない (70代)
- 執行部のチェックだけで、前向きな政策提言が見えない (70代)
- 面白いなどの記事は不要 (30代)
- もっと夢のある議論を (70代)
- 新たな制度や取り組みなどの紹介がわからない (20代)
- 「考える」を市民に投げかけていない (60代)
- 市報と同じではダメだ (30代) (60代)
- 興味あるところは録画の動画を見ている (70代)
- 委員会の審議内容や活動がわからない (70代)
- 議会だよりの費用や議会の予算が見えない (50代)
- 市民の活動を見せる新コーナーが楽しい (80代)
- 見た感じ難しそう「読みたい・読もう」と思わない (10代)
- 議会だよりの発行目的が伝わってこない (30代)

## 議会だより 行政調査レポート

### 南陽市 (山形県)

山形県市議会議長会 議会報研修会  
令和3年11月5日(金)  
南陽市文化会館

「シエルトーなんようホール」

講師・東北芸術工科大学グラフィックデザイン学科教授の赤沼明男氏(南陽市出身)より、デザインの役割について講義いただきました。講師からは「議会だよりはラブレター」と学びました。みなさんが読みやすい尾花沢市議会だよりにチャレンジしたいと思えます。



### 川西町 (山形県)

川西町広聴広報常任委員会  
令和3年11月5日(金)

川西町は議会だより全国コンクールで2回の最優秀賞、12年間連続ベスト10入りの全国を代表する議会広報誌を発行しています。  
見やすいレイアウト、見出し、リード文で本文を読みやすく、住民参加型の紙面づくりをしています。住民の声を聞き、政策提言していくためには、常任委員会にする必要があること、アドバイザー、モニターを活用することなど、議会と広報のあるべき姿を学びました。



コロナ緊急対策(第13弾)

補正予算の内容

一般会計予算	6億7,022万8千円	127億2,495万9千円	
特別会計	国民健康保険	4,640万円	19億6,728万6千円
	中央診療所	98万4千円	4億1,143万5千円
	介護保険	7,520万円	20億2,704万7千円
	後期高齢者医療保険	499万7千円	2億1,129万7千円

星川薫質疑

Q 花笠高原・徳良湖周辺施設復活応援事業費補助金、新型コロナウイルス感染症対応応援支援金の詳細について説明をお願いしたい。ねまる・スポーツクラブには支援が入っていない理由について伺いたい。

A 復活応援事業助成金は得得クーポン発行事業で、3,000枚発行するもの。感染症対応応援金はふるさと振興公社への支援になる。JAが管理するねまるは、それほど落ち込みがない。スポーツクラブへは、燃料費高騰を含め確認したが補正に上げるような案件はなかった。



株式会社尾花沢市ふるさと振興公社 TEL:0237-23-3261  
花笠高原・徳良湖施設復活応援事業  
150万円

新型コロナウイルス感染症の影響の長期化と、燃料や電気料の高騰により、大きく打撃を受けている花笠高原や徳良湖周辺施設の再興を目指し、アフターコロナにおける利用者の消費喚起により集客を促すもの。



肉用牛肥育経営持続化支援事業  
(畜産経営減収対策緊急支援事業)  
163万3千円

新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態の影響で牛枝肉価格が下落基調にあり、8月出荷分で標準的販売額が生産費を下回り、牛マルキン(販売額と生産費の差額9割を補填)が発動。県独自の支援策として、牛マルキンで補填されない1割分を県と市町村で協調補填する。



尾花沢市事業持続化応援支援金  
(タクシー業、観光バス業などへの支給)  
120万円

菅野喜昭質疑

Q コロナ禍及び燃料高騰による、タクシー業、観光バス業などの減収に対する支援金は効果大。燃料高騰による路線バスの経営圧迫に対する対応はどのようなか。

A 路線バスは、業務委託しており、委託費の見直しは考えていない。

新型コロナウイルス感染症の影響の長期化と燃料の高騰により、多重に影響を受けている、地域の公共交通及び観光振興に不可欠なタクシー、バス事業の運営維持を支援するもの

— その他 主な事業 —

- ・ 橋梁長寿命化事業…………… 3,828万円
- ・ ふるさと暮らし応援事業補助金…………… 2,095万円

伊藤浩質疑

Q 橋梁維持費の詳細についてうかがいたい。

A 国の内示による社会資本整備総合交付金により橋梁補修するもの。三日町、鍋越、六沢の3橋になる。



II-21-1号橋(鶴子地区)

令和3年12月定例会が、12月7日から15日まで9日間の会期で開催されました。一般会計補正予算、特別会計補正予算、国民健康保険条例の一部改正など7議案、教育長などの人事案件3件を慎重に審議し、結果いづれも原案通り可決しました。

定例会のあらまし

# コロナ第6波に備えて 3回目のワクチン接種

## 令和3年度一般会計補正予算(第7号)

新型コロナウイルスワクチン  
接種体制確保事業

2,511万2千円



## 山形県人事委員会勧告に伴う給与改定

(県内民間の支給状況を踏まえ、ボーナスを引き下げ、期末手当に反映するもの)

●市の一般職 0.1ヶ月分引き下げ (合計849万4千円)

●市の特別職 0.05ヶ月分引き下げ  
(市三役 合計15万1千円、議員 合計35万円)



- 請願者 平和友好祭北村山地区実行委員会実行委員長
- 紹介議員 尾花沢九条の会 代表 鈴木ミツ工
- 付託 菅野 真治
- 審査の結果 産業厚生常任委員会 鈴木 清
- 理由 更に調査検討を要するため 継続審査

◎「沖縄戦戦没者の遺骨混入土砂を埋立てに使用する計画の中止と、政府が主体となって戦没者遺骨収集を実施することを求める意見書の提出に関する請願」

令和3年請願第6号

請願

# 18歳以下の子どもへの 現金10万円の年内支給 決定

「子育て世帯への臨時特別給付金」が、12月15日に政府指針が急遽決定されたため、追加補正予算が提案され(第9号)、全会一致で可決した。そのため18歳以下の子どもへ現金10万円の支給となった。

子育て世帯臨時特別給付金給付事業 2億4,214万円

### 主な質疑

問 10a当たり千円の内額は、米価下落・原油高騰・農業資材の値上げに反映された金額ではないのではないか。県の主食用米の「生産の目安」に協力しているのに、これでは経営意欲が萎縮してしまう。今後予算化していただきたい。

答 県でも議論されており、国・県・他市町村の動向を注視し、今回は十分ではないが、今後研究検討したい。

(伊藤 浩)

問 率直に言って「少ない」と思う。農家はコスト高で四重苦・五重苦の現状だ。県内の自治体では、千円から三千円の幅があり、本市は千円で、少ない自治体だ。村山市は、12月定例会で補正しないで、3月定例会で補正するようだが、本市はどうか。

答 10a当たりに対して、畜産農家への支援制度との制度の整合性をとった形で、9割の補填に対し、残りの1割を県と市が折半し補填をしていく。

今後国・県・他市町村の動向をふまえて検討させていただきます。

答 10a当たりに対して、畜産農家への支援制度との制度の整合性をとった形で、9割の補填に対し、残りの1割を県と市が折半し補填をしていく。

今後国・県・他市町村の動向をふまえて検討させていただきます。



## 米価下落にどう支援するか

尾花沢市稲作経営緊急応援事業1860万円  
10a当たり千円

総務文教  
常任委員会

# 山形市教育関係に関する調査

コミュニティスクール・小規模特認校制度・ICT教育

【令和3年12月17日】



文部科学省は令和4年度までに全ての公立学校にコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）設置を努力義務目標としており、山形市においては小中学校の約半数が既に設置を完了している。令和4年度には全ての公立校への設置を予定している。

この制度は、学校と保護者や地域の皆さんがともに力を合わせてつくる「地域と共にある学校」という教育長の強い思いで進められている。他に小規模特認校とICT教育に関して調査を行った。

産業厚生  
常任委員会

# デジタル技術で地域の課題解決

レインボープランコンポストセンター・長井市役所

【令和3年11月2日】



**(1) スマートシティ関連事業**

平成31年にデジタル専門人材派遣制度に応募し、令和2年から県内で唯一N-TT東日本より人材派遣をうけている。総合政策課にデジタル推進室を設置（室長含め15人）し、各部門の若手職員にデジタル推進室への兼務・併任辞令してデジタル化を推進している。デジタル通貨（ながいコイン）・デマンドバス運行・スマートストア・LPWAで河川の水位監視・SIMで子どもの見守りなどに取り組んでいる。ドローン技術者確保と育成・

高齢者向けデジタル機器操作教室・DXセミナー開催・サポートセンターの運営などを行っている。

**(2) レインボープラン**

平成3年「台所と農業をつなぐ・ながい計画」計画調査委員会を設置し、市民と行政で協働の組織作りを行っている。

平成9年からは、コンポストセンターに搬入した生ごみを堆肥化し、それを農家などが使用して農産物を生産することで、再び台所へ食材を届ける地域循環型のSDGsにさががけて取り組んでいる。



**(3) 新庁舎建設**

鉄道駅と一体となった全国初の庁舎。旧庁舎は防災機能、耐震性不足、洪水時浸水想定区域内であったために、安全性（標高4m高い）・住民利便性（まちなか）・実現性（フラワ―長井線）で移転した。市役所とまちなか交流施設・長井駅を合体し全長170mあり、分散していた市役所機能を集約し防災拠点として高い基準をクリアしている。隣地には、令和5年完成予定の公共複合施設として、図書館＋子育て世代活動支援センターが建設中。

# 広域組合議会の報告

## 北村山広域行政事務組合議会

令和3年11月9日に定例会を村山市議会議場にて開催し、令和2年度北村山広域行政事務組合一般会計歳入歳出決算の認定（歳入決算額9千913万3千430円、歳出決算額8千852万3千848円）、監査委員の選任、教育委員会教育長の任命についての3議案を可決した。また、令和3年12月21日に臨時会を村山市議会議場にて開催し、監査委員の選任と教育委員会委員の任命（五十嵐健氏）についての2議案を可決した。



この度、北村山広域行政事務組合議会では議員改選が行われ、尾花沢市からは奥山格議員、小関英子議員、星川薫議員が選出され、星川薫議員が副議長に、奥山格議員が議会運営副委員長に指名された。

令和3年12月21日に北村山教育賞表彰式が開催され、北村山教育賞に落合信輝さん（尾花沢中2年）、落合大翔さん（尾花沢中1年）、大場明咲さん（福原中1年）、北村山教育奨励賞に内山ころさん（日大山形高1年）、遠藤佳人さん（秋田北鷹高1年）が受賞した。

第41回北村山地区区自視聴覚教材コンクール児童生徒作品部門において尾花沢中学校芸術部、作品名「いきいき さわやか 学校生活 服装・髪型のきまりについて考えてみよう」が特選を受賞した。

（北村山広域行政事務組合議会は、視聴覚センターの管理運営や教育などについて事務を共同処理するところ。）



## 北村山公立病院組合議会

令和3年12月23日に第3回定例会が開催され、繰出基準額の変動などに伴う3市1町負担金の補正を行い、コロナ禍の受診控えでの入院患者の減少などによる収益減少に伴う補正予算2議案を可決した。

今後、医師と看護師の確保とともに、病院の建て替えを含め協議していく。

北村山公立病院負担金

市町名	既決額	補正額	計
東根市	4億6,138万円	880万円	4億7,018万円
村山市	2億7,102万円	530万円	2億7,632万円
大石田町	6,009万円	117万円	6,126万円
尾花沢市	1億3,785万円	267万円	1億4,052万円

## 尾花沢市大石田町環境衛生事業組合議会

12月24日、同組合議場にて開催され、同組合一般会計補正予算ほか2議案が原案通り可決された。

一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ67万8千円を追加し、予算総額7億1千877万円とした。

内容は、塵芥処理費として、燃料費、光熱水費、医療材料費、備品修繕料などの増高費とした。

規約制定に関する議案として、「尾花沢市大石田町環境衛生事業組合と山形県との間の行政不服審査法第81条第1項に規定する機関の権限に属せられた事項を処理する事務の委託に関する規約の制定について」は、可決された。

人事案件の議案として、同組合の議会選出監査委員の選任については、議会の全会一致の同意をもって小玉勇大石田町議会議員を再任して閉会した。



あけましておめでとございます

今年は壬寅（みずのえとら）で、厳しい冬を越えて芽が吹き始め、新しい成長の年になるといわれています。私たち市議会議員14名もワンチームとなって、対話集会の開催や議会基本条例づくりなど、尾花沢らしいトラ（寅）イを積み重ねながら、皆さまに必要とされる市議会を目指します。



議長 青野隆一

12月定例会 一般質問

10人の議員はこう質<sup>た</sup>した



録画が見れます

一般質問 1 日目



一般質問 2 日目

○囲み数字が掲載

伊藤 浩	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 農業を取り巻く諸問題</li> <li>② 元気な尾花沢づくりを更に進めるために</li> <li>③ 新年度の予算編成</li> </ul>	小関 英子	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 芭蕉来訪333年記念事業</li> <li>② 上の畑焼の発掘調査</li> <li>③ 子宮頸がんワクチン接種の支援拡充</li> <li>④ リニューアル補助の拡充</li> </ul>
菅野 修一	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 米価大幅下落への市独自支援策は</li> <li>② 本市のブランド化米「雪きらり」</li> <li>③ 四たび、旧駅前前の賑わいを創出するまちづくり</li> </ul>	塩原 未知子	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 徳良湖マスタープラン見直し</li> <li>② 尾花沢市のブランド米「雪きらり」と米の消費喚起</li> <li>③ 「最上紅花」と尾花沢の関わり</li> <li>④ 御所山県立自然公園</li> <li>⑤ 新築を考える世代に魅力的な居住空間無雪化計画の推進を</li> </ul>
鈴木 由美子	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 豪雪時の災害協定</li> <li>② 自主防災組織</li> <li>③ 環境関連施策</li> <li>④ 街並みや景観の整備</li> <li>⑤ バリアフリー・ユニバーサルデザインは進んでいるか</li> </ul>	鈴木 清	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 特別養護老人ホームの入所待機者をどう解消するか</li> <li>② 原油価格高騰下の福祉灯油</li> <li>③ コロナ禍、今こそ学校給食の無料化を</li> <li>④ 教職員対象の「学校のあり方アンケート」</li> </ul>
星川 薫	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 消防に係る案件</li> <li>② 徳良湖の観光事業</li> </ul>	奥山 格	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 学園構想</li> <li>② 米価の下落に対する農家の支援策</li> <li>③ 本市観光の誘客拡大策</li> <li>④ 万寿荘の今後のあり方</li> <li>⑤ パレットスクウェアの閉鎖</li> </ul>
大類 好彦	<ul style="list-style-type: none"> <li>① パレットスクエア</li> <li>② 宝くじ助成（一般コミュニティー助成事業）</li> <li>③ 診療所</li> <li>④ ゴミ焼却場の建設</li> </ul>	鈴木 裕雅	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 災害時の情報管理</li> <li>② 農業補助</li> <li>③ ごみ処理基本計画</li> <li>④ 中央診療所の今後のあり方</li> <li>⑤ 危険家屋所有者に対する対策</li> </ul>

尾花沢に 移住された方々のチカラ **大好き尾花沢 Vol.3**

市報などの情報で尾花沢市の人口が1万5,000人を下回り、ものすごい勢いで人口が減っている今、逆に尾花沢に移住される方がいて、私はその方々と仕事やプライベートを通して触れ合う機会が多くなった。すいか農家になりたい方、雪を求めて移住を決意された方、理由は様々。移住された方々と話をすると、「尾花沢いいところですね！」とほとんどの方が口にする。今まで気づかなかったその魅力に気がつき、理解したとき、自分の生活もこれまで以上に楽しく豊かなモノになり、ますます尾花沢が大好きになった。

他の市町村にあって尾花沢にないものにどう向き合うか、雪などの大量にある資源をどう活かすか、移住されて来た方の意見には、交流人口を増加させる事や人口減少を改善するためのヒントがあり、アイデアや考え方には未来があると感じた。

自分が一番やりたい事は、自宅に薪ストーブを設置することだ。丹生に住みすぐそこに山があり、こんなに身近に資源がある事に気づかなかった。石油のように便利なものではない。薪を集める能力、乾燥させる場所、ストーブのメンテナンス、温度調整と大変な事だらけ。だが、薪に火を着け、木という近くにあるものが、熱エネルギーに変わる事を実感したいと思うようになり、何年後に設置できるかわからないが、ワクワクしながら、遊びの一つと考え、熱エネルギーを石油から薪へ少しでもシフトしていけたらなあと…。

便利になった現代を都市と考え、あえて不便さを選ぶ田舎暮らしに魅力があると考える移住者の方と、実際に今薪ストーブで暖をとっている方に魅力を教えて頂いた。

昨年4月OBANAZAWA ACTIVE FIELD LLCと名付け柴崎和、菅野真治と共に法人を立ち上げた。目標は交流人口増加！アイデアを出し資源商品を作り、魅力を伝える発信力を強化、マーケティング戦略、トライ&エラーの繰り返しで日々勉強中だ。これまで移住者の方も含め沢山の方とお話をする機会があった。尾花沢の魅力を商品に出来るのは尾花沢で生活している市民の方、人のチカラで未来は大きく変わるだろう。私たちの会社は、雪に閉ざされた街ではなく、「雪が降ったら尾花沢にしてみよう」となる未来の姿に挑戦していきたい。



OBANAZAWA ACTIVE FIELD LLC 菅野貴広

報告 令和2年度 政務調査費を公開します。 **いくら使われた？**

<b>交付</b> 総額 <b>1,680,000円</b> 年額 120,000円/1人	単位：(円)	<b>返還</b> (市の財源へ) <b>1,249,983円</b> ※交付された政務活動費に 残高があった場合は、 年度末に返還されます。																
	<table border="1"> <tr><td>令和クラブ</td><td>192,030</td></tr> <tr><td>市政クラブ</td><td>78,041</td></tr> <tr><td>小関 英子</td><td>5,000</td></tr> <tr><td>塩原未知子</td><td>99,909</td></tr> <tr><td>伊藤 浩</td><td>25,110</td></tr> <tr><td>鈴木 裕雅</td><td>0</td></tr> <tr><td>鈴木 清</td><td>22,981</td></tr> <tr><td>和田 哲</td><td>6,946</td></tr> <tr><td>合計</td><td>430,017</td></tr> </table>		令和クラブ	192,030	市政クラブ	78,041	小関 英子	5,000	塩原未知子	99,909	伊藤 浩	25,110	鈴木 裕雅	0	鈴木 清	22,981	和田 哲	6,946
令和クラブ	192,030																	
市政クラブ	78,041																	
小関 英子	5,000																	
塩原未知子	99,909																	
伊藤 浩	25,110																	
鈴木 裕雅	0																	
鈴木 清	22,981																	
和田 哲	6,946																	
合計	430,017																	

こちらより、さらに詳しくご覧になれます。



尾花沢市議会 令和2年度 政務活動収支報告書

# 米価下落で千円の支援は安すぎる

## 市長…県や近隣自治体の支援内容を考慮する



菅野 修一 議員

**問** 3年産米価は1万円を大きく割込む概算金となった。「こんな価格では米作りは続けられねえ」と悲嘆にくれている。昨年よりも3千300円の下落、昨年と比較すれば5千300円の下落であり、10a当たり生産コスト12万円に対し、2万5千円も下回る大幅赤字である。農家が意欲を失わず、来年も米づくりに取り組めるように市として支援すべきではないか。金山町では、10a当たり3千円、宮城県大崎市は4千円を支給している。中山間稲作を占める割合の高い本市は一層の支援が必要ではないか。

**答** 今回の対策は、全国的な価格の下落に対応

**問** 今年の山形95号の概算金は1俵8千200円と最低価格となった。尾花沢での愛称を「雪きらり」と命名し、研究会も設立した。ブランド化予算を付与し、7年目だが先の結果となった。せめて県が推奨する「雪若丸」並の評価を得るブランド戦略が必要と思うがどうか。

**答** これまで研究会では、栽培技術の研修会や土壌分析に取り組んできた

### 雪きらりのブランド化



する支援という目的で県や近隣自治体の支援内容を考慮し、10a当たり千円の支援金を本定例会最終日に追加補正として提案する。

### どうなるパレットスクエア

**問** ABESAを利用する子育て世代関係者、駅前商店事業者、路線バス利用者など一大関心事として見守っている。このような時こそ、四たび旧駅前の賑わいの創出に繋がる、民と官が連携したまちづくりプランを示してもらいたい。パレットスクエア所

**答** 有者の考えを踏まえ、その周辺にどのような施設を配置し整備するのか、整備手法も含め検討したい。

東根市や金山町は3千円の支援金、本市は千円。あたたかい市政にしては情けないなあ。



つぶやき…

# 米価低迷に更なる対策が必要 !!

## 市長…稲作継続が図れる政策を進めたい



伊藤 浩 議員

**問** 9月定例会でコロナ禍での米価低迷を受け、あらゆる機会を捉えて関係機関に支援を要望していく旨の答弁を受けたが、その後の活動内容と成果について伺いたい。

**答** これまでに、山形県市長会、東北市長会、全国市長会の中で農家の現状を訴え、米価下落対策を交付対象とする地方創成臨時交付金の予算拡充を図ることなどを要望してきた。12月県議会でもこれに関する議案が上程されており、本市独自の緊急対策も今定例会に追加補正を予定している。稲作農家の営農継続を図るためにも、後継者育成も含め、「儲かる農業」の推進策を継続して進めて

行きたい。

**問** 来年度の「生産の目安」が示され、転作面積が増えている。近年資材作物としてのWCSが増産傾向にある一方で、品質の低下が問題となっている。栽培農家への栽培マニュアルの周知徹底を図る必要があるのではないか。

**答** 転作面積としてのWCSは、今年度は約130haであり、昨年より25ha増えている。対象農家にはチラシを配布し、栽培管理方法の周知を行っているが、今後、関係機関と連携した営農指導を行い、品質向上につなげていく。

**問** 中山間地域、特に未整理地区の農地荒廃防止のために何が必要と考

### 元気な尾花沢づくり

えているのか。また、新規就農者育成も含め、「生産者がやる気を出せる農業政策」をどう進めるのか。

**答** 未整理地区農地の荒廃防止を図るには、基盤整備は極めて有効と考えている。また、「地域の農地は地域で守る」との意識を醸成するために「人、農地プラン」の中で話し合いを行い、総合的なプランを具体的に進めていく事が重要と考える。今後とも地域の実情に合わせた対応策を地域のみなさんと話し合っ



鶴子地区なかよしお茶のみ会

ていきたい。

**問** 高齢者の健康で元気な活動に対し、地区の公民館活動や、社会福祉協議会、老人クラブ活動を通じて積極的に支援を行っていただきたい。

**答** 高齢者の健康で元気な活動に対し、地区の公民館活動や、社会福祉協議会、老人クラブ活動を通じて積極的に支援を行って

基幹産業の農業あらゆる手立てを講じて守るべき!!



つぶやき…

# 消防団員に適切な報酬と出動手当を

## 市長…新年度予算の中で検討する



令和3年12月に導入された災害対応軽四輪駆動車

### 消防の広域化

**問** 消防の広域化はすべきとお考えか。

**答** 本市のように小規模な消防本部では、出動体制や資機材等の確保に限界があり、将来的に消防力を維持し市民サービスの低下を防ぐためには、消防広域化を推進していく必要があると考えている。

### 消防団員の報酬と出動手当

**問** 消防団員の報酬と出動手当を消防庁長官より通知された額まで上げた場合、財政負担ほどの程度になるか。

**答** 消防庁長官通知に基づき、団員階級の年額報酬3万6千500円を標準として算出した場合、約1千万円、出動手当1日当たり8千円を標準として算出した場合200万円、合計で約1千200万円の財政負担が見込まれる。

### 徳良湖の観光事業

**問** 徳良湖自然研修センターの利用率が低迷



ほしかわ かおる 星川 薫 議員

# 豪雪時の災害協定を結べないか

## 市長…雪対策を強化し災害に強いまちづくりを進める



すずき ゆみこ 鈴木由美子 議員

**問** 市内の業者が受注対応に追われる場合、近隣市町村の建設業者からの作業支援体制づくりが必要ではないか。

**答** 平成19年7月より「北村山地域内災害時の広域支援協定」を北村山建設業協会、北村山管内の各市町建設業協会と締結しているが、さらに広域的な連携体制の強化が重要である。関係団体なども協議しながら連携体制のあり方を検討する。

### 自主防災組織

**問** 育成強化の現状はどのようか。避難所の運営において女性の視点を活かすことも大変重要であ

**答** 「市民総合賠償補償保険」や各地区単位

### 環境関連施策・街並みや景観の整備

**問** 環境基本計画の見直しによりごみ減量化や新たな焼却施設の導入が急がれるがどのようか。また市民意識向上、街中の美化や景観に配慮するため関心度の高い「間伐材ゴミステーション」事業の拡大はどうか。

**答** 現在副燃材として燃やしているプラスチックごみのリサイクルを推進する法律に変わっている。財政状況を考慮しながら令和8年以降の建設で検討していく。空き地空き家の利



活用、樹木の管理や花壇の緑化に取り組み。

### バリアフリー・ユニバーサルデザインは進んでいるか

**問** サルナートのステーションに車いすでも登壇できるようにしてはどうか。  
**答** 取り外し可能なエレベーターや移動可能な電動車いす昇降機など検討していきたい。

している。常時体験型の観光ができる施設として改築してはどうか。  
**答** 宿泊機能を活かしたテレワーク環境の整備や徳良湖の景観とアクティビティを組み合わせたワーケーションができるワーキングスペースの整備を考

**問** 体験型観光を目的とした店を出店させてはどうか。  
**答** 上の畑焼を中心とする各作品は、それぞ

令和2年度の地域おこし協力隊の隊員数TOP10

順位	都道府県名	市町村名	隊員数
1位	北海道	東川町	50
2位	新潟県	三条市	49
3位	熊本県	高森町	42
4位	宮城県	丸森町	37
5位	宮崎県	都農町	32
6位	兵庫県	豊岡市	31
7位	三重県	いなべ市	29
8位	群馬県	上野村	27
9位	山梨県	北杜市	26
9位	島根県	邑南町	26
9位	山口県	萩市	26
10位	大分県	竹田市	25

隊員の給料は特別交付税で全額支給されます(隊員1人当たり440万円上限)

**問** 地域おこし協力隊員の師匠として匠の会を活用し、3年後に銀山に

来た観光客をターゲットに

消防団の報酬なんとかしてあげたいな〜



つぶやき…

市民の声は届いているか?



つぶやき…

# どうなるパレットスクエア？

## 市長…利用者に不便が生じないように対応する



おおのい よしひこ 大類 好彦 議員

**問** パレットスクエアが来年3月で閉店を予定している。市の関係しているものが4つある。バス待合所、シルバー人材センター、観光物産協会、ABESAの移転についてどう考えているか。2年間の延長を要望しているという事だが、どのようになったか。市で建物、土地を購入すればいいと思う人もいる。選択肢の一つと思うがどう考えるか。

**答** 尾花沢待合所については交通事業者と情報交換をし、継続的に利用したい旨のご意見を頂いている。シルバー人材センターは、旧保健センターを利用できないかと話を頂いている。尾花沢市観光物産協

会は、本町内に移転を検討している。ABESAは、徳良湖の基幹集落センターを含めた既存施設を検討している。解体延長については交渉中。建物、土地の購入については、話し合いを重ねる中で様々な可能性を探っていききたい。



### 一般コミュニティ助成事業

**問** 一般コミュニティ助成事業は、大変有利な助成事業だと考える。区長の集まりや各団体の会議などで、もっとPRすべきと思うがどうか。少子化でスポーツ少年団の統合などが進んでいる。ユニフォームの新調などに使えないか。

**答** 過去に使った事例も有るようだが、現在は対象外になっている。別には財団の助成があり、この事業だとユニフォームも助成対象になる。PRについては、年度当初の区長会などで周知したい。

### 中央診療所あり方検討委員会

**問** 診療所のあり方検討委員会について何う。公立病院との連携強化により、分院化や看護師の人事交流を検討しているか。

**答** 高度医療を担う公立病院へのスムーズな橋渡し、公立病院退院後すぐに自宅に戻れない人の受け皿になるなど、医療機能の分担を図りたい。看護師の派遣については、決定事項では無く不安はあるが、人事交流は学べる場の創設であり、スキルアップに繋がる。



つぶやき…

# 芭蕉来訪333年記念事業を企画してはどうか

## 市長…「芭蕉と清風」市独自の企画を発信していく



こせき えいこ 小関 英子 議員

**問** 令和4年は、松尾芭蕉と曾良が鈴木清風宅を訪れてから333年になる。最上町や山形市などと連携した記念事業を企画してはどうか。

**答** 松尾芭蕉は鈴木清風を訪ねて尾花沢に来ている。「芭蕉と清風」市独自の企画を発信していく。

**問** 市独自の企画で具体的な考えはあるか。

**答** 芭蕉と清風のつながりを再発見する企画として市文化財専門員のガイドツアーや特別展を検討していく。

**問** 尾花沢版ミニスタンラリーを計画してはどうか。

**答** 一過性のものではなくQRコードを活用し

GPS機能を活かし、電子スタンラリーを検討していく。

**問** 山刀伐峠山頂のトイレを、より安心安全で管理しやすいトイレに整備する考えはあるか。

**答** ハイシーズンに移動式の洋式トイレを設置するなど検討する。

### 上の畑焼発掘調査

**問** 伊藤瓢堂氏が上の畑焼を再興されて40年になり、窯本体の発掘調査が必要ではないか。

**答** 窯本体の発掘調査については、発掘の目的や考え方などを伊藤瓢堂氏と協議し精査したうえで検討していく。



**問** 上の畑焼を常設展示し、歴史を後世に伝承していくために、上の畑焼伝承館を設けてはどうか。

**答** 上の畑焼をより多くの方々に知っていただくように常設展示が可能な公共施設の活用を検討していく。

### 子宮頸がんワクチン

**問** 子宮頸がんワクチンの積極的勧奨が行わ

れなかった方へ今後支援の考えはあるか。

**答** 令和4年4月から定期接種の標準年齢の方々へ積極的な接種勧奨を個別に通知することが示された。国の指示に基づいて接種勧奨し接種体制を整えていく。

**問** 子宮頸がん予防のためには、ワクチン接種と定期検診が重要で検診者を増やす対策をどう行うか。

**答** 20歳以上の検診を希望する方に毎年受診の機会を確保している。21歳の方は無料で受診ができる。ワクチン接種とがん検診の重要性を周知していく。

歴史と文化を知り次代に伝えることを大切にしたい



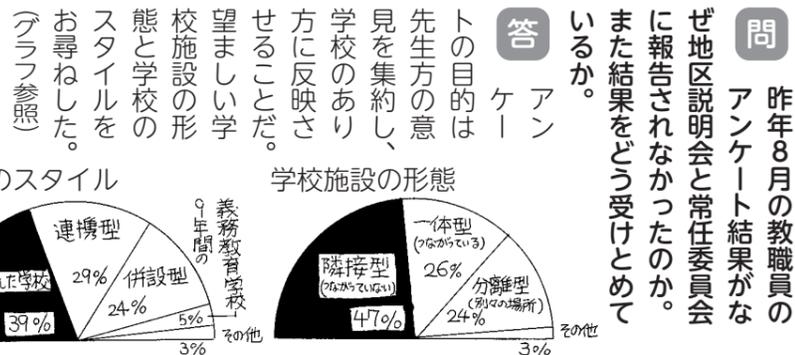
つぶやき…

# なぜ報告がない「教員アンケート」

## 教育委員会…目的は「学校のあり方」に反映させるため



すぎき きよし 鈴木 清 議員



**問** 特別養護老人ホームの入所待機者の解消

**答** 山形県社会保障推進協議会の調査では、

**問** 学校給食の無料化

**答** 平成30年度より給食費を半額助成しているが、どのような声があるか。コロナ禍が長期化し、格差と貧困が広がり、困難に直面している今こそ、学校給食を無料化してはどうか。

**答** 「家計の負担が減り大変助かる」との保護者の声がある。無料化は他自治体、児童生徒数、財政負担を考慮し、総合的に判断し対応していきたい。

**問** ケアマネージャーを中心にしたサービス提供事業者と連携し、支援を行うか。

**答** ケアマネージャーを中心にしたサービス提供事業者と連携し、支援を行う

**問** 本市は3施設合計の定員数189人に対し、待機者149人は、待機率が79%となり、県内で待機率が一番高いが、実態をどうとらえているか。

**答** すぐ入所できない状態は把握している。待機者の実態は県の調査で本市は17人、そのうち施設入所77名、入院中54名、自宅待機40名で、必要な方から順次入所している。

**問** 待機者が安心して順番をまてるために、①入所順位の通知②喀痰吸引の研修③親身な相談④定員数の拡充を提案するが、市はどのように関わる考えか。

**答** ケアマネージャーを中心にしたサービス提供事業者と連携し、支援を行う

**問** 福祉灯油

**答** 生活への影響は深刻と捉えており、低所得世帯の灯油購入の負担軽減のため、県と連携し活用しやすい制度にしていきたい。

大事なアンケートは公開し、今後活かすべきだ。



つぶやき…

# 雪があるから楽しいまちづくりを

## 市長…官民学連携で「未来定住型住宅エリア」を検討



しおばら みちこ 塩原未知子 議員

**問** 「ゼロカーボン宣言」は、地中熱、地熱にこだわって民間企業と連携し新築を考える世代に魅力的なまちづくりを進めるべきではないか。

**答** 都市計画マスタープラン全体構想案の再エネ活用無雪化ゾーンの整備の中で「未来定住型住宅エリア」を構築し、大学や関係機関と連携し、若者を誘導し街並みの再構築につなげていく。

**問** 徳良湖マスタープランは農業と産業振興の要。老朽化し改修が必要な公共施設が今後相

**問** ブランド米「雪ぎらひり」

**答** これからの米政策「尾花沢のブランド米戦略」どう進めていくのか。引き続き「雪ぎらひり」研究会を進めていく。

**問** 交流&関係人口の利ユーザー増で維持管理が持続可能になるよう収益性あるプランに見直しすべきでは。

**答** オートキャンプ場やパンプロトラックは市民利用者がかなり多い。市民憩いの場として徳良湖を整備し基幹集落センターに屋内遊具を入れ、Wi-Fi利用できるようにする。青年センターはワーケーションに活用できるようにハード面の整備を計画的にしていく。

**問** 「最上紅花」と尾花沢

**答** 以前「上の畑焼の紅猪口」を市で開発したらしいが情報は残っているか。県では世界農業遺産を目指している。時節にのって企業と連携したR&Dを再興し「最上紅花」にこだわった農業支援、地域活性化を図ってはどうか。

**問** 紅を作る技術は難しいが、新たな特産品を開発することは本市農業の活性化につながる取り組みか。

**答** 紅を作る技術は難しいが、新たな特産品を開発することは本市農業の活性化につながる取り組み



**問** 御所山県立自然公園

**答** 徳良湖は築堤50周年の年に御所山県立自然公園の飛び地として認定された。R4年「全国山の日」が県内で開催される。築堤100周年記念事業もコロナ禍で延期になったので、連携してはどうか。

**問** 「山の日展示リレー」とやまがた百名山写真展」を市役所ロビーで4月28日～5月17日まで開催し、大会記念登山を各地区で行う。また御所山の新荒神コースが開通し、山頂まで通行が可能となったのでお披露目登山を調整していく。

「雪エネルギー」を様々活かす住まい創りの研究所造りたいなあ



つぶやき…

# 学園構想よりも小中学校は現在地を活用すべきでは

市長…校舎が西向きになり、スクールバスがUターンするには狭い

## 学園構想

**問** 学園構想は子供たちの教育面にとってどんな利点があるのか。

**答** 小学校・中学校・保育園が共同で行事を行ったり、学習で協力したりしやすい。また「中一ギャップ」の解消や小学校入学時の不安感解消などの効果が期待できる。また中学校の音楽担当教員が小学校で校歌の指導をしたりできる。

**問** 幼児期、小学生時、中学生時は成長の過程が大きく異なる。各段階での保育や教育は大きく異なるのではないかと。保育や教育は各段階で個別になされるべきで、隣接して行う



おくやま きわむ 奥山 格 議員

**答** 必要はないのではないかと。それぞれ独立して保育や教育を行った上で、それに加えて連携を図るといったことを考えている。

**問** 学園構想は本市の市民にとってどのような利点があるのか。

**答** 各地区の子供たちが一緒に学ぶことで市内全域の郷土の歴史や文化産業などに触れることができ、この体験は、子供たち一人ひとりの「ふるさと愛」をより一層はぐくむことにつながる。

**問** 学校、保育園の建設は本市にとって大きな公共事業であり、めったにない。そして小学校や中学校や保育園は住民の集会場になったり、市役所の事

現地の方が、子供たちにも、市民にも、財政上もよいのではないかと。



つぶやき…

**問** それは学校統合のメリットである。学園構想では7〜8ヘクタールの新たな広大な用地取得が必要になるが、現在の小学校、中学校の敷地に建てるのであれば用地取得費はいらなくなるのではないかと。現在の小学校用地は、かつては千人規模の児童が学んでいた学校であり、中学校用地もかつては70人規模の生徒が学んでいた学校であり決して狭くはないと思うがどうか。

**答** 小学校の地形をみると西向きの校舎になる。またスクールバスが入ってUターン、すれ違っても狭いと思う。

# 災害時は情報共有が大切では

市長…非常に有効

## 農業補助の拡充

**問** 光選別機(色選機)やドローンを使うためには周辺機器が必要。国や県の補助で周辺機器に対する補助は無い。今後、周辺

**問** 災害発生時には情報の共有を行うことが大切。住民や市外部へ伝えるため、情報を受け取るためにも体制づくりが必要と考えるがどうか。

**答** 物資の確保が困難となる場合も想定され、協定締結団体や関係機関から調達することになる。必要な物資に関する情報が一元的に管理され、情報共有がなされることは非常に有効。



農業散布ドローン

**問** 農業者への農業補助の説明も大切だが、機器取扱店への説明会を開

**答** 機器類に対する補助が必要ではないかと。スマート農業技術はまだ普及途中にあり、要望の多い機械本体の導入を優先的に支援していく。



すずき ひろまさ 鈴木 裕雅 議員

## 今後のごみ処理計画は

**問** 令和4年4月に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行される。今後のごみ処理計画を見直す時期ではないか。

**答** 平成31年に策定の現計画ではプラスチックごみは燃やすことで計画されているが、資源化に向けた取り組みが強化されることから令和5年度に見直しを図っていく。ごみ処理施設更新は、令和2年に策

**問** 催してはどうか。

**答** 一堂に会しての説明会を行ったことは無い。開催に向けて調整していく。



米の光選別機(色選機)

定した「循環型社会形成推進地域計画」に基づき準備を進めているが、現在の計画では交付金を活用することが出来なくなる可能性がある。国の方針に基づきプラスチックごみのリサイクルを考慮した地域計画の見直しについて市・町・環境衛生事業組合とで協議を進めていく。

大切なのは出来るか否かではなくどういったビジョンを描くか



つぶやき…